

特集

【おすすめスポット】

my "Recommended Spots"

九重“夢”大吊橋

福岡オフィス一所員

私は福岡オフィスへの赴任後の8ヶ月間、休みの度に九州北部や山口県等の各地の名所に出かけてきました。そんな私の「おすすめスポット」の一つに「九重“夢”大吊橋」があります。

福岡市から南東へ約100km、大分県中西部の山間の町・九重町にあるこの吊り橋は、長さ390m、川床からの高さ173mという、日本一の大きさの人道吊り橋です（※2015年12月に長さ400mの三島大吊橋（静岡県三島市）が開通すると、長さは日本一ではなくなります）。

実際に橋に足を踏み入れ、橋の中央部から左右を見れば、そこには見渡す限りの大渓谷が広がります。橋から見える景色の中でひととき目を引くのが、落差83mの雄滝と落差93mの雌滝からなる震動の滝。この震動の滝は、日本の滝百選の一つに選ばれており、特に一見の価値があります。

橋の幅1.5mの床板のうち、中央の幅50cm程度の部分は金網状になっていて、そこからは谷底がよく見えます。とはいえ、高さが高さだけに、高所恐怖症の方はあまり下を見ない方がいいかも。なお、橋の造りはとてもしっかりしており、揺れはさほど大きくありません。

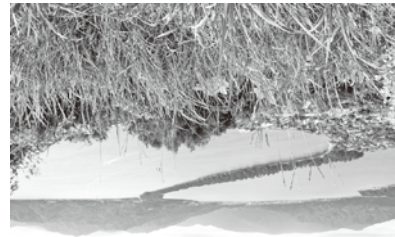
九重“夢”大吊橋に行くなら、その周辺にも足を伸ばすのもおすすめ。「おんせん県」のキャッチフレーズで知られる大分県の各市町村の例に漏れず、九重町にも、「九重九湯」と呼ばれる九つの温泉を始めとする多数の温泉があります。これらの温泉には、日帰り入浴であれば1人300円程度で入浴できます。この一帯にはたくさんの温泉があるからか、入浴者の数はそれほど多くないため、ゆっくり落ち着いて温泉を楽しめます。温泉旅館もいくつかありますので、宿泊ももちろん可能です。

九重町の東隣・由布市には、誰もがご存知であろう一大観光地・由布院があります。九重を訪れるのであれば、一緒に由布院も訪れてはいかがでしょうか。

股のぞきが楽しめるスポット

創英Q郎

日本三景の中に、天橋立という観光名所があります。京都府北部、日本海の宮津湾に位置



している細長い砂浜ですが、海を渡る橋のような不思議な形をしており、お互いに対向して流れる水流に運ばれた砂が堆積してできたそうです。股のぞきで見るとその形が名の通り天に架かる橋のように見ると言われています。高い場所からその景色が見えるように展望所が設置されていますが、ロープウェイで登ってみると、股のぞきの姿勢と天橋立の眺めを楽しめる最適な場所まで描いてある案内図が設置されています。股のぞきという言葉の意味がよく分からない私のような人にとっては最高に優しい案内図です。

展望所からは普通に見ても十分綺麗な景色が目に入りますが、股のぞきで見るとそれがどういう風に見えるのかが楽しみになります。案内図に案内された通りに所定の場所にて所定の姿勢で、自分の顔の前にカメラを位置させてシャッターを切ってみました。その結果が上の写真のようなものです。体の方向を微妙にずらしてみたり、ステレオグラムを見る時のように目のピントを調整してみたり、また、同行者や近傍にいる方々と意見交換をしながら天に架かる橋をイメージすることが意外と楽しく感じます。

展望所から見ると細長く見える砂浜ですが、中に入ってみると非常に広々で、たくさんの高い木が立ち並んでいます。また、沿岸の水の音も軽く聞こえてきて、湖を隣にした森林の中に入ったような気がします。展望所の出口から天橋立までの町並みも非常に綺麗で落ち着いています。特に自然の好きな方にはお勧めです。近いところに行く機会がある方は、ぜひ一回立ち寄ってみてください。子供の頃に戻った気分で股のぞきを楽しむには最高に贅沢でいい場所だと思います。

【おすすめスポット】

my "Recommended Spots"

ホワイトハウス

鄭 聖暉

今回の「おすすめスポット」は米国駐在者からお届けいたします。今回ご紹介の場所は、今私が駐在中の米国の首都ワシントンDCの象徴とも言えるホワイトハウスです(写真1)。ホワイトハウスは、皆様ご存知のように、ワシントンDCのど真ん中に位置し、文字通りに真っ白な建物です。初めて見た時は、思ったより小さいと思いましたが、見る度にとっても綺麗な建物だと思っています。以前は年中一般公開されていて、観光客でもホワイトハウスの内部に気軽に入ってみることができましたが、最近は春と秋に年に2回だけ(今年は4月と10月の土日2日ずつ)一般公開されています(写真2)。もしワシントンDCを訪れるのであれば、この時期にあわせると珍しい経験ができるかも知れません。中に入ると、オバマ大統領の娘さんたちが遊んだという遊び場があります(写真3)。うちの娘もここで少し遊びたがっていましたが、セキュリティの方から「お父さんが大統領じゃないとダメよ!」と言われてしまいました(笑)。また、野菜を栽培している畑もあり、ここで採れた野菜がホワイトハウスの食卓に上がるのだそうです(写真4)。ファーストレディのミッシェル・オバマさんがこれを始めたそうで、毎週木曜日の昼にホワイトハウスの近くで行われるファーマーズマーケットも彼女が始めたそうです。このファーマーズマーケットには私も木曜日のランチでよく行きます。ワシントンDC近郊で採れた新鮮な食材で作ったいろんな食べ物がありますので、皆様もぜひ訪れてみてください。



▲写真1

写真2▶



◀写真3



写真4▶

しまなみ海道

おんまく

今回の特集「おすすめスポット」の原稿募集があり、これはお国自慢ができる良い機会だ!と思い寄稿した。

さて、私のおすすめスポットは「しまなみ海道」である。しまなみ海道は、愛媛県今治市と広島県尾道市の間(瀬戸内海)にかかる橋梁と道路の総称(愛称)のことだ。

おすすめのポイントは、何と言ってもその景色である。穏やかな瀬戸内海とそこに浮かぶ大小の島々などが織りなす絶景を、橋を渡りながら楽しむことができる。そして、重要なのは、このルートは「徒歩」や「自転車」で通ることができるということだ。つまり、四国と本州は歩いて往来することができる、ということである。しかも、徒歩の場合、通行料は無料!だ。

近年、自転車愛好家に人気が出てきており、国際的なサイクリング大会等も開かれている。自分で今治や尾道まで自転車を運ぶことができない人もご安心あれ。レンタサイクルのサービスもあり、島々に乗り捨て可能なターミナルも用意されている。

徒歩やランニングで渡りながら、途中の島の民宿等で美味しい海の幸に舌鼓を打つもよし、様々なタイプの橋を見て楽しむのもよし、である。

おっと、お伝えしわすれてはいけない点がいくつか。本州から来て今治で宿泊する場合は、ぜひ、今治の焼き鳥を試して欲しい。今治の焼き鳥は、一般的な串に刺さった焼き鳥ではなく、鉄板で焼いたものが平皿に載せられ、たれがかかった状態で出てくる。今治人は大変せっかちなので、鉄板で熱しながら上からコテでも押さえて焼いて出すようにしたのが始まりだという。「皮」は絶対に食べねばならない。あと、「せせり」も。

焼き鳥とビールで橋を渡り切った疲れを癒したら、翌日は、珍しい「海城」である今治城(藤堂高虎が建造!)を見て、今治タオルを買って帰れば言うことなしだろう。高級な今治タオルだが、地元の今治では少しは安く買える、と思う。